

# 西原小だより

学校だより  
3月号

## 在籍児童数

3月1日現在
1年 37名
2年 29名
3年 37名
4年 32名
5年 36名
6年 30名
つばさ学級 6名
合計 207名

## 当たり前に感謝

校長 山崎 祐一

過日、規制線が張られた校門前に立つ一人の警察官に若い男性が声を張り上げていました。「ここから中に入れるよ。何で入れねえんだ。お前ふざけるな!」・若い男性はとても強い口調でこんな言葉を残して立ち去りました。私は警察官に「大変でしたね」と言うと「私たちの仕事は嫌われる仕事ですから」という一言。私たちの生命や財産や暮らしを守る崇高な仕事に従事する警察官のこの一言に私は言葉を失いました。

休日ワイドショーを見ていた時です。3回目のワクチン接種の遅れを厳しく批判しているコメンテーターがいました。「なぜ事前に準備しておかなかったのか」「日本は欧米に比べて接種が遅れている」と批判します。確かに高齢者や重症者の命を救うためにも一日も早い接種は多くの人が望む関心事です。

この2つの事例が今の世の中の風潮を表しているとは思いませんが、ただあまりにも責任や悪意を他者に向けすぎた空気が目に余ると感じています。なぜ若者は規制線の中に入りたい理由や思

いを普通の口調で言えなかったのでしょうか。24時間勤務する警察官の姿をなぜ想像できなかったのでしょうか。自分が言われたらどんな気持ちになるのかわからなかったのでしょうか。

ワクチン接種に向けて私たちの見えないところで必死になって準備をしている市町村職員がいます。私たちは自分の力では誰もワクチンの準備や接種はできません。見知らぬ多くの人々のお陰でワクチン接種は受けられるのです。そう思えば「大変なお仕事ありがとう。しかしもっと早く接種できるといいね」と穏やかに言えるはずで。批判は私たちの当然の権利だ。国や自治体の担当者は報酬ももらっている。だから批判されて当然だという考えは、形だけしか見ずに知識や情報に流されています。人の道やものの道理に反していると思っています。

過日、とても嬉しい事がありました。6年生が校門前に立つ警察官の皆さんに感謝の気持ちを込めて手作りのアクリルたわしを10個プレゼントしました。警察官の皆さんはとても喜んでくれました。現場周辺を警備する警察官の姿は形だけを見れば当たり前

の行為であり職務です。しかし誰もが当然と思うその職務も大変な苦勞

があるはずで。今回の6年生の行動は私たちが忘れがちな当たり前に対する感謝の心遣いであり、究極の人間教育だと思っています。日本中で警戒中の警察官に感謝の気持ちを伝えたいと思う小学生はいったいどれ程いるのでしょうか。この厳しい状況下でも本校の6年生は生きていく上で一番大切で忘れてはいけない事を学んだと思っています。

私たちは誰もが一日も早く当たり前の日常に戻る事を願っています。当たり前の日常とはマスクなしの生活ができて自由に旅行にも行き、従来の学校行事や学校生活を送れる姿を想像する人も多いと思います。しかしコロナ禍は身近な家族や地域社会の中の人間関係に大きな摩擦や傷跡を残しました。感染への危機感から誰もが自分の経験や価値観や思いを主張し、感染防止のやり方ひとつでも他者を批判したり否定したりする事が起きました。当たり前の日常とは目に見えない形が整うと同時に互いの心が通い合って初めて成立するものです。

誰もが生きる軸を見失い、何を信じて生きるかがわかりにくい今、不安な心を他者に転嫁する風潮が広がっています。当たり前に感謝でき、周囲に温かな空気や笑顔を創り出せる人こそが今、一番求められていると思っています。

## ★非常事態を経験して..

1月27日(木)の夜に突然発生した発砲事件は全国に大きな衝撃を与えました。事件現場に隣接する本校には夜間でもとても寒い中、多くの皆様が避難されました。あまりに突然の事で遅くだったため、職員の数も少なく戸惑いの中で様々な面でご心配やご不自由をおかけしました。より安全な大井西中学校に移動するまでの間、地域の皆様には大変冷静な態度で接していただいた事に改めて感謝と御礼を申し上げます。そして昼夜を問わず事件解決や子どもたちの安全確保にご尽力いただいた警察・消防関係の皆様にも深く感謝申し上げます。今後この教訓を様々な場面で生かしていきたいです。

## ○避難場所となった学校

約40〜50名の皆様が2時間程度本校図工室に一時避難されました。校内は警察・消防・市職員の皆様が任務の遂行に全力を尽くしていました。

## ○校内で対応した職員

規制線が張られた中で残された職員は徹夜でマスコミ等の電話対応や教職員や保護者への連絡に当たりました。

## ○子どもたちの心のケア

事件が解決した後も学校・PTA・地域・警察の四者で登下校の見守り活動を続けました。カウンセラーを県教委に要請して心のケアを図りました。

★令和4年度学校運営協議会委員

令和4年度の本校「学校運営協議会委員」を次の皆様にお願ひ致しました。ご多用の中もお引き受け下さった皆様に深く感謝申し上げます。また令和3年度で退任される4名の皆様にはこれまでの本校へのご厚情に深く感謝申し上げます。

(会長) 田中 健一 様 (再任)  
(委員) 大島 次雄 様 (再任)

熊倉 奈々 様 (再任)

柄田 毅 様 (再任・学識者)

土屋 範久 様 (再任・行政)

二瓶千香子 様 (再任)

水野 猛 様 (再任)

三谷 直子 様 (再任)

岩村 英輔 様 (新任)

須永美由紀 様 (新任)

高村晋太郎 様 (新任)

藤井 沙紀 様 (新任)

※校長・教頭・教務・具費事務も委員として参加します。

★警察官の皆さん「ありがとう」

2月4日(金) 発砲事件後から本校の周辺を24時間警備している東入間警察署の警察官の皆さんに感謝の気持ちを込めて6年生たちが指編みのアクリルたわし10個をプレゼントしました。授業担当の村田教諭と担任の関口教諭の指導の下、6年生たちは気持ちの籠った素敵な作品をお渡しできました。2人の先生方と6年生たちの温かな心遣いに多くの人が感動しました。

★新人児保護者説明会

2月2日(水) 本校4F多目的室にて新人児保護者説明会が開催されました。当日はコロナウイルスの感染拡大が続く中での開催でしたが、感染防止策を施しながら33名の皆様が来校しました。4月からの小学校生活を円滑にするための説明や話し合いが行われ熱心にメモを取る方も多くいました。その後通学班の編成や教材の購入などが行われました。

★アンモナイト寄贈

消毒ボランティアとして毎週本校の感染防止に大きく寄与して下さっている岩村英輔様が理科教育に活用してほしいとアンモナイトの化石を寄贈して下さいました。知人からいただいたというアンモナイトは数億年前の地球に住む貝類で北海道で発掘されたものと伺いました。子どもたちの教育活動に大いに活用させていただきます。ありがとうございました。

★体育館の完成

昨年11月から始まった体育館改修工事が2月末日をもって終了しました。この間、仮駐車場の設置や西門が使用できないなどご不便をおかけいたしました。完成した体育館は空調設備や床の改修や屋根の補修等が行われて素晴らしい施設となりました。工事中閉鎖された西門周辺はこれまで通り使用できる様になりました。

★幼小小連絡協議会

2月7日(月) 近隣の幼稚園・保育園の先生方7名と本校職員との情報交換の場である幼小小連絡協議会が本校にて開かれました。子どもたちの授業の様子を見ていただき、その後に活発な意見交換がなされ有意義な協議会となりました。

★感謝の手紙

コロナ禍が続いた今年度でしたが、様々な面で多くの皆様に支えられた一年でした。そのご尽力に感謝の気持ちを表す目的で全校児童が感謝の手紙を書きました。後日、該当する皆様にお渡し致します。

★県学校歯科保健コンクール

第68回埼玉県歯科保健コンクールにおいて本校は「入選」という栄誉をいただきました。これは在籍する子どもの歯の治療率が80%を超え、学校全体で歯に関する指導や取組が評価されたものでした。日頃よりご家庭内で子どもさんの歯に関する高い意識や関心がある事に感謝して継続的に取り組みます。

★保護者懇談会

2月21日(月)から24日(木)にかけて担任と保護者との懇談会を実施しました。授業参観はできませんでしたが、有意義な話し合いの場となりました。

★3月の学校等の予定

- 1日(火) 登校指導・お話朝会
- 2日(水) 登校指導・児童集会
- 3日(木) 図書貸し出し最終日・登校指導
- 4日(金) スクールカウンセラー来校  
PTA定例会
- 7日(月) 読み聞かせ
- 8日(火) 体育朝会
- 9日(水) さわやか相談員来校・児童集会
- 10日(木) 図書返却最終日・P登校指導  
ともしび号来校・クラブ活動
- 11日(金) 委員会活動
- 14日(月) 西原タイム
- 15日(火) 賞状伝達朝会
- 16日(水) 美化活動・短縮④
- 17日(木) さわやか相談員来校
- 18日(金) 卒業式予行・短縮④
- ※5年生は卒業式準備のため⑤
- 22日(火) 短縮④・卒業式準備
- 23日(水) 卒業式(短縮③)
- ※1・5年は臨時休業
- 24日(木) 短縮③
- 25日(金) 修了式(短縮③)
- 26日(土) 春季休業日(4月7日)
- ※この予定は3月1日現在でのものです。今の感染状況により中止・変更・延期・縮小などの対応があるかもしれません。

※卒業式・入学式について

改修された美しい体育館での初の学校行事となります。感染対策の徹底や内容の精選や学校規模等を考慮して両行事も一家庭2人の参加とします。ご理解・ご協力をお願い致します。

